

知的障がい者フットサル日本代表候補合宿 トレーナー報告

2024.7/13 ~7/15

作成者：島田 靖丈 （トレーナー）

※今回の合宿での外傷・障害は別紙参照

今回の合宿では病院受診をするような外傷は起きなかった。

今合宿は9月の韓国遠征メンバーの選考も兼ねていた事でまだ梅雨時期の7月に行われた。メンバー選考も兼ねていた為か、しっかり準備してきた選手が多かった印象で、yo-yo テストの結果も良好で、特にFPは12名中10名が前回よりも記録を伸ばし、落とした2名も前回と殆ど変わらない結果となった。

外傷に関しても、以前良く起きていたサーフェスの違いにより、母指球等にマメができるという選手もおらず（踵の靴擦れは1名いたが）フットサルに慣れてきている選手が多いと感じる事が多かった。ただ、フットサル特有の狭いスペースでの動きの中でも、特に止まる事ができない選手が多く見られた（スピードがありプレスは相手にとって脅威なのだが、止まれないのでファールになったり、スライディングになってしまう選手、W-UPで止まれない選手も数多くいた）ので、今後の合宿でも取り入れていきたい。

今回の合宿では今まで2泊3日の合宿ではTRMが1回だったが2回行ったことで、集中力がどうしても切れてしまいやすい状況もあったが、集中力の欠如によるケガもなかったのは、夢フィールドの素晴らしい環境を使わせて頂ける事、食事を含めた宿泊先（クロスウェイ様）が素晴らしかった事もあると思うが、何より選手のモチベーションが高かったからだと思えるくらいの熱量を多くの選手から感じたので、韓国遠征は人数の関係で10名しか行けないが、選ばれた選手も、選ばれなかった選手も、このモチベーションを維持してフットサルに対して取り組んでいって欲しいと思います。

また、合宿後にチーム内でコロナ陽性が2名発生した。保護者、所属チームにはチームスタッフから電話連絡し、経緯の説明と謝罪、経過の報告をお願いした。合宿では食事前後に選手自ら手洗いうがいをする姿勢が身についており、チームでマスクを配っていたが、感染してしまった。次回合宿に反映し、対策を講じる。

以上、合宿での報告とする。